



保護者の皆さんから



保護者の皆さんから「公立幼稚園について」一言ずつ、御紹介いただきました。

～ 子ども ひとりひとりを大切に ～

- ◇ 少人数ならではの ゆったりとした保育がうけられる。
- ◇ 子どもたちの意思を尊重してくれたり、保育に取り入れたりしてくれる。
- ◇ 先生方が親身に対応してくれるので、子どもの成長を親もともに楽しめ、心配や気になる事を共有し、一緒に考えたり協力したりしながら、子どもの良さを伸ばしていくことができる。
- ◇ 少人数の良さを活かして、異年齢とのふれあいやお互いを認めあうことなどを大切に、先生も担任だけでなく、全員で子どもの成長を理解し、深めてくれている。
- ◇ 子どもにとって、園は家庭を離れ、小学校にあがるまでに身につけておきたい集団生活や身の回りの事など、友達との関わりを通して、心身共に成長していく場所であるので、落ち着いた環境で、先生と保護者が協力し、地域の中でふれあいながら、成長していく場所となっている。
- ◇ 園目標が『 幼児期にふさわしい生活を通して 心身の調和的発達を図り、心豊かでたくましい子どもを育成する 』とあります。一番大事なことは、派手でなくてもいいので、安心して生活できる環境です。子ども自身が主体であり、友達との関わりや、いろいろな活動を通して心が成長したり、協力することや認め合うことを学んだりしていける場所が「公立幼稚園」なのかなと思います。
- ◇ 成長がゆっくりで心配があったり、発達障害のある子どもも通いやすいと思います。加配の先生がいたりして、配慮されていると思う。
- ◇ 先生方が研修等でスキルアップされていて、先生方の子どもへの対応や声掛けの言葉など、親としても勉強になる。
- ◇ それぞれの園が理念を掲げていますが、昔から変わっていないと思います。大切な事は、めまぐるしい世の中においても、変わらないのではないのでしょうか。



～ 地域のつながりを大切に ～

- ◇ 地域に密着していると思います。園外保育時にご近所の方と交流があったり、地域行事への参加があったり、地域にある公立だからこそできる濃いかかわりがある。
- ◇ 年中行事などを通して、地域の大人、高校生など、世代を超えていろいろな方と触れ合える。
- ◇ 降園時間が一斉であったり園庭開放などがあって、保護者の繋がりができた。子育てについて相談できる仲間ができ、修了後も小学生になってからも助けてもらっている。送迎時や降園後の園庭開放、保護者参加行事等で、保護者同士がかかわる機会を通して、そういった方と出会うことができた。
- ◇ 小学校校区なので、親も子も親しみをもって、地域の豊かさを知り、幼保小が連携してスムーズに進学できるように関わりをもってきている。
- ◇ 小学校にあがった時に、同級生だけでなく、上の学年にも知り合っている友達がいるので安心できる。
- ◇ 今の友達と同じ小学校へあがれる。親同士のつながりがあり安心できる。幼稚園で同じ給食を食べていたので安心である。といった事により、地域の小学校へスムーズに入学できる。

～通わせてみて、思うこと～

- ◇ 公立の幼稚園は、これから大人となり生活する社会の縮図だと思います。多様性が重んじられる世の中において、必要となる糧が身につくのではないのでしょうか。
- ◇ 幼稚園のお迎えが早く、幼稚園に預けるイコール仕事ができないといったイメージがありますが、新しい制度などを利用すると、子どもにとっても、親にとっても良い。
- ◇ お金をかければ施設や習い事はできるが、それだけではない大切なものが学べると思う。先生方が工夫や協議を重ね、充実した保育が行われていると思う。

